

分科会：

私は今まで「ほめる」ということを意識したことがあまりなかったので、今回改めて考えてみて「ほめるってこんなに大切な人だ」逆にほめられるとこんなにいい気分になるんだなと感じました。また私は今回の授業を通して助けに行くのではなくて友達になるために行こう!と思うようになりました。実際に現地に行き活動している知夏さんからの言葉で「その人がどう思っているのかを知ることができました。なのでこれからは考え方を少し変えて相手がどう思っているのかを考えてきちんと友達として世界の人々と関わり合ってみたいなと思いました。」

分科会：

最初は少し難しそうなお話なのかなと思っていたけれど、知夏先生が分かりやすく、世界の人たちと仲良くなる方法やコツを教えて下さったので理解することが出来ました。ありがとうございます。
世界の人々を「ヒーロー」として助けるのではなく、友達として助けるという言葉が印象に残っています。
私は留学にあまり興味は無かったけど、今回の国際交流を通して、もし機会があったら留学して世界の人々と友達になりたいです。

分科会：講師の方の体験、思ったこと、感じたことを教えてもらい、私もかなり共感しました。特に共感したことは、アフリカの子供のセリフです。救い主ではなく、友達として来てほしい... その言葉は本当に感激しました。あと、今回の授業でもう一つ学んだことは、自分でも誰でもほめるということですね。初体験の人にはほめることにおいて第一印象が良くなり、より早く仲が良くなると思います。とても良い体験でした。

分科会：クラスでは、外国の人を知る事の良さや、世界が広がって
いく事を理解する事ができました。また、自分の今まで思っていた
外国との接し方を良い意味で変える事ができたのではない
かなと思いました。外国の人には自国の言い所やその相手の
国の良い所を言う事や、友達のように接していくというのは、
仲間も増え、さらに良い気持ちでいられるので、自分も
相手でも、とても大切な事であると分かったように思
いました。これからはたくさん人の良い所などを見つけたいです。

分科会：

「日本がめぐまれているからヒーロー。」と言う感じが、たしかに言われたら嫌だねと思ったので、私も外国の方とか会える機会があったら、たくさん良い所を見つけて、友達になリたいなと思いました。お話しを聞いててすごく楽しかったです。学校生活でも、友達ほどのいい所を見つけてたくさんほめていきたいです。自分のいい所を見つけるのも、自分で

見つけられると、すごく自信につなげるなと思いました。今回の自分の意外な一面(?)を知れてよかったです。

分科会：知夏七未

僕は、少しナルシストな一面があるので、そういう人が世界中にいると知って、やはりナルシストであることは、間違っていないんだなあと思いました。また、世界の苦しい状況におかれている人に対して、救ってあげる人という立場で接するのではなく、あくまで対等な助け合って生きていくことが「当然である友達」として接していくことが大切という言葉は、とても心に響きました。世界中に友達がいるというのは、とてもすごいことなので、そんなコミュニケーション能力のかたまりである知夏さんの話を耳聴けてよかったです。